

《教養科目》

科目名	日本文化と国際理解				
担当者氏名	大野 博之、馬場 和久、専任教員				
授業方法	講義・演習	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

国際社会の一員として、主体性をもって自己の役割を果たすために、我が国及び諸外国の伝統や文化等について深く考え発表できる。また、異なる文化や価値観をもつ人々を理解し、共生していこうとする姿勢や国際社会が抱える様々な課題を自らの問題として捉え、その解決のために身近なことから取り組もうとする意識や態度を自ら養う。主体的・対話的な姿勢で取り組む。

《授業の到達目標》

日本文化と国際理解の重要性について説明できる。カナダ、オーストラリア、台湾の地理や歴史、文化等について説明できる。国際社会の問題点や課題について指摘でき、自らの生き方や在り方について説明できる。

《成績評価の方法》

- ・ 授業ノートの内容（各回ごとのレポート等を含む）70%
- ・ 授業に取り組む意欲や姿勢30%

《テキスト》

- ・ 必要に応じてプリントを配布する。

《参考図書》

大野誠「敦照のこころ」現代書林、1995
 初野正春「礼儀作法の基本と実践」
 大津和子・溝上泰「国際理解重要用語300の基礎知識」明治図書、2000

《授業時間外学習》

- ・ 各回ごとのテーマについて予習しておく。
- ・ 授業後、学修内容をノートにまとめる。
- ・ 予習や復習、課題等、30時間程度の時間外学習を必要とする。

《課題に対するフィードバック等》

- ・ 毎回の授業の様子や課題への取組状況等を講評する。
- ・ ノートにまとめた内容を評価し、フィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	国際化の中の日本人:大野博之	国際理解とは何か、また、国際化の進展の中で日本人に求められる能力とは何かについて学ぶ。[時間外学習]国際理解について予習しておく。
2	SDGsと海外の子どもたち: JICA職員	SDGsの視点から捉えた、海外の子どもたちの生活や教育事情について学ぶ。[時間外学習]SDGsについて予習しておく。(予習2時間、復習2時間)
3	西洋料理テーブルマナー:担任他	学外で西洋料理テーブルマナーを実施し、具体的なマナーを身につける。[準備学習]事前学習の内容を復習しておくこと。
4	国際理解(1)カナダ・台湾:大野満奈・琴絵・担任	カナダ、台湾の地理や歴史、文化等について学ぶ。また、バンクーバーアイランド大学での教育について知る。[時間外学習]カナダ、台湾について予習しておく。
5	国際理解(2)オーストラリア:古木竜太・担任	オーストラリアの地理や歴史、文化等について学ぶ。シドニー大学、マッコリー大学での教育について知る。[時間外学習]オーストラリアについて予習しておく。
6	日本の伝統文化・作法:梶並 勉	日本の伝統文化である茶道を通して、礼儀や立ち居振る舞いについて学び、国際人としての資質を高める。[時間外学習]茶道について予習しておく。
7	SDGsと国際社会における問題点:馬場和久	地球環境問題としての温暖化やプラスチックごみ等について学び、自身の生活や行動の在り方を身につける。[時間外学習]地球環境問題について予習しておく。
8	進展する国際社会での生き方:大野博之	急激に変化する国際社会にあって、職業人としての生き方について学ぶ。[時間外学習]これまでの学修内容についてノートにまとめる。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《教養科目》

科目名	健康・スポーツ				
担当者氏名	古木 竜太				
授業方法	実技	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能			

《授業の概要》

いつの時代も健康的な生き方は人類の理想でありながら、近年は身体を動かして活動することや他者と関わる機会が希薄になった時代ともいえる。そこで、本科目では球技などのチームスポーツを通じて、健康の維持・増進を図りながら、チームスポーツにおける協働について学ぶ。社会は協働できる職業人を求めていることを念頭に置き、様々なチームスポーツを通じてコミュニケーションスキルを身につける。

《授業の到達目標》

本科目では、主に球技などのチームスポーツを通じて、以下の目標の到達を目指す。本授業で取り組むスポーツ各種の基本的なルールを理解して基本動作を修得し、ゲームを実践することができる。誰とでも良好な人間関係を構築しながら、チームパフォーマンスが高まる方法を考え、実行することができる。チームスポーツにおけるコミュニケーションについて説明できる。

《成績評価の方法》

本授業で取り組むスポーツ各種の成績およびチームへの貢献度を75%、課題レポート25%とし、総合評価60点以上を合格とする。積極的なプレーや意欲などを加点要素、消極的なプレーは減点要素として評価する。

《テキスト》

Microsoft社製のTEAMSを用いて、履修者専用のチームを作成し、必要に応じて資料を履修者専用チームにて提示する。

《参考図書》

豊田 博（編）他『最新スポーツルール百科2000』．2000年4月15日．大修館書店
平下政美『実践・生涯スポーツ』．平成7年5月19日．不昧堂出版
中村敏雄（編）『スポーツ文化論シリーズ スポーツコミュニケーション論』1995年7月15日．（有）創文企画

《授業時間外学習》

本授業で取り組む、スポーツ各種に関する基本的なルール・基本動作について、予習・復習しておくこと。（本授業では15時間の時間外学習を必要とする）

《課題に対するフィードバック等》

課題レポートは授業終了後に提出し、コメントを記載して返却する。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	心身の健康とスポーツ活動	健康の維持・増進を目的としたスポーツ活動の意義、授業内容や評価方法に関する説明〔時間外学習〕TEAMSで提示した内容について予習・復習すること（合計1時間）
2	体育大会の競技練習	体育大会競技種目の実践、競技方法の理解と出場種目決め〔時間外学習〕TEAMSで提示した競技種目について予習・復習すること（合計1時間）
3	ポッチャ練習	基本的なルール、得点集計、戦術の理解、ゲームの実践〔時間外学習〕ポッチャの基本的なルール、得点集計について予習・復習すること（合計1時間）
4	ポッチャリーグ戦	各チーム総当たりのリーグ戦〔時間外学習〕チーム内で戦術に関するミーティングを行い、ゲームに勝つための予習・復習をすること（合計1時間）
5	バレーボール基礎練習	基本的なルールの理解、チームワークを深める練習、基本動作の練習〔時間外学習〕参考図書 で基本的なルールを予習、基本動作を復習すること（合計1時間）
6	バレーボールミニゲーム	ルールの理解を確認するミニゲーム、基本動作の反復練習〔時間外学習〕パフォーマンスレベルについてチーム内で話し合い、練習する（予習・復習1時間）
7	バレーボールリーグ戦の実施（1）	各チーム総当たりのリーグ戦〔時間外学習〕本次のゲーム結果を振り返り、パフォーマンスレベルが向上する練習に取り組む（予習・復習1時間）
8	バレーボールリーグ戦の実施（2）	前次に引き続きリーグ戦を行う〔時間外学習〕パフォーマンスレベルが向上する練習に取り組む、総合成績についてチームで話し合う（予習・復習1時間）
9	協働ゲーム	チームワーク、コミュニケーションを深めるための運動ゲーム〔時間外学習〕TEAMSで提示した内容について予習・復習すること（合計1時間）
10	サッカー・バドミントン基礎練習	基本的なルールの理解、チームワークを深める練習、基本動作の練習〔時間外学習〕参考図書 で基本的なルールを予習、基本動作を復習すること（合計1時間）
11	サッカー・バドミントンリーグ戦の実施	各チーム総当たりのリーグ戦を行う〔時間外学習〕サッカーはパスワークの練習、バドミントンはストロークの反復練習（予習・復習1時間）
12	ポートボール基礎練習	基本的なルールの理解、チームワークを深める練習、基本動作の練習〔時間外学習〕参考図書 で基本的なルール（バスケット）を予習、基本動作の復習（合計1時間）
13	ポートボールリーグ戦の実施	各チーム総当たりのリーグ戦を行う〔時間外学習〕パフォーマンスレベルが向上する練習に取り組む、総合成績についてチームで話し合う（予習・復習1時間）
14	エアロビックダンス	ストレッチ、基本的なステップ〔時間外学習〕参考図書 のエアロビクスに関する内容と基本的なステップについて予習・復習すること（合計1時間）
15	ドッジボール	基本的なルールの理解、チームワークを深める練習、ゲームの実践〔時間外学習〕TEAMSで提示した基本的なルールを予習、総合成績についてチームで振り返る（合計1時間）

《教養科目》

科目名	健康・スポーツ				
担当者氏名	桐原 由美				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性				

《授業の概要》

生涯にわたり健康的な生活を送るために、肥満予防、有酸素運動、基礎代謝について学び、理解を深める。本科目の学習を踏まえ、自己の食生活、運動習慣を振り返り、より望ましい生活習慣への改善を図る。

《授業の到達目標》

社会に貢献できる専門的な職業人になるために、本科目を通じて健康の維持・増進を目的とした運動の必要性を理解する。そして、運動処方について正しい知識を学び、日常的な運動を心がけ、健康的なライフスタイルを身につける。

《成績評価の方法》

定期試験（レポート/60%）、授業における提出課題（20%）、授業後に提出する小レポート（20%）で評価し、60%以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	日本の健康づくり施策	健康の定義と日本の健康づくり施策について学ぶ [準備学習]自身の町の健康づくり施策を調べておく
2	体力測定の実施	体力測定を通して、自身の体力の現状を知る [準備学習]測定項目の測定方法を調べておく
3	体力と健康	体力とは何か、その定義と要素について学ぶ [準備学習]体力測定の結果から体力面に関する課題を調べておく
4	運動と健康	運動不足がもたらす健康への影響を学ぶ [準備学習]自身の1日当たりの平均運動時間を調べておく
5	体の柔軟性と健康	体の柔軟性の低下が健康に及ぼす影響を学ぶ [準備学習]柔軟性の向上に向けたトレーニングを調べておく
6	筋力と健康	筋力の低下が健康に及ぼす影響を学ぶ [準備学習]筋力の向上に向けたトレーニングを調べておく
7	生活リズムと健康	健康生活における睡眠の重要性について考える [準備学習]健康づくりのための睡眠指針2014・睡眠12箇条を読んでおく
8	生涯動ける体づくり	”歩くこと”の効果について学ぶ [準備学習]自身の1分間当たりの歩数を確認しておく
9	-	-
10	-	-
11	-	-
12	-	-
13	-	-
14	-	-
15	-	-

《テキスト》

テキストは特に定めない。必要に応じてプリントを配布する。

《参考図書》

- 安部孝 琉子友男著：これからの健康とスポーツの科学 第5版 講談社 2020
- 深代千代 安部孝編：スポーツでのばす健康寿命 東京大学出版会 2019
- 福岡大学スポーツ科学部編：大学生のスポーツと健康生活 大修館書店 2017

《授業時間外学習》

予習として、各回の[準備学習]に示した内容を行い授業に臨むこと。復習として、授業で学んだことをノートにまとめること（本授業は33時間の授業時間外学習が必要です。したがって、各回において、予習復習合わせて4時間、これに加えて1時間の自主学習を行ってください）。

《課題に対するフィードバック等》

授業において提出を求めた課題は、コメントを付してフィードバックする。

《教養科目》

科目名	英語 B				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	演習	単位・必選	1・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能			

《授業の概要》

英語 の授業に引き継ぎ、実際の場面で使える英語を修得するため、繰り返し英語を聞いて声に出す(Say it Aloud)こと習慣を身につける。『Q&A Practice』『Dialog Practice』『自己表現』の3部構成で学ぶことにより、英語の基礎を復習し初級レベルの英会話能力をさらに培う。

《テキスト》

三浦笙子他著 「基礎からのクイック・レスポンス」 三修社

《参考図書》

マイケル・シャワティ他著「日常英語の総合トレーニング」鶴見書店
岩間直文著「英会話練習帖」洋泉社

《授業の到達目標》

- (1)多彩なwarming-upや言語活動を通して、楽しみながら基礎的な英語力や表現力を習得することができる。
- (2)英検準2級取得に必要な英語力を習得することができる。
- (3)日常会話に不可欠な表現を学び、多彩なコミュニケーション活動を通して、英会話力を高めることができる。
- (4)基本的な英文法を理解することができる。
- (5)世界各国の生活や文化に関心を高めることができる。

《授業時間外学習》

- (1)日頃から英語を聞いて、英語を耳から覚える。
- (2)習った単語や英文を、自分の言葉に直して覚る。
- (3)「聞く/話す/読む/書く」活動を繰り返す。
- (4)英検やTOEICを受験し、英語力を確かめる。
- (5)予習復習を欠かさない(本講義では15時間以上の授業外学習が必要です。各回予習・復習合わせて1時間程度)

《成績評価の方法》

期末考査(70%)、小テスト・宿題・自己表現・学習態度などを含む平常点(30%) 総合評価60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

課題の提出後、間違いの箇所を正し、コメントを書きフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	指導方針、学び方、授業体験、英会話	(授業内容) ガイダンス、授業の受け方、英語の学び方、英語での自己紹介 (時間外学習) 英語での自己紹介を書いてくる。
2	Unit7.Where were you born? 受動態	(授業内容) 受け身の作り方 (時間外学習) Unit7の単語を調べ、本文と訳を書いてくる。
3	Unit7.Where were you born? 設問に解答	(授業内容) 実際に受動態の問題を解く (時間外学習) Unit7.EXERCISESと解いてくる。
4	Unit7.Where were you born? ライティング	(授業内容) 受動態を使って実際に英文を作る。 (時間外学習) 課題のライティングを行う。
5	Unit8.How have you been? 現在完了形	(授業内容) 過去形と現在完了形の使い分け (時間外学習) Unit8の単語を調べ、本文と訳を書いてくる。
6	Unit8.How have you been? 設問に解答	(授業内容) 実際に現在完了形の問題を解く (時間外学習) Unit8.EXERCISESと解いてくる。
7	Unit9.I used to be afraid of the water.習	(授業内容) used to と be used to の使い分け (時間外学習) Unit9の単語を調べ、本文と訳を書いてくる。
8	Unit9.I used to be afraid of the water.設	(授業内容) 実際にused toの問題を解く (時間外学習) Unit9.EXERCISESと解いてくる。
9	Unit10.Does she mind eating raw fish? used-	(授業内容) 不定詞と動名詞をとる動詞の使い分け (時間外学習) Unit10の単語を調べ、本文と訳を書いてくる。
10	Unit10.Does she mind eating raw fish? 設問	(授業内容) 実際に動名詞の問題を解く (時間外学習) Unit10.EXERCISESと解いてくる。
11	Unit11.It's fun to learn English. 不定詞	(授業内容) 不定詞の使い方 (時間外学習) Unit11の単語を調べ、本文と訳を書いてくる。
12	Unit11.It's fun to learn English.設問に解	(授業内容) 実際に不定詞の問題を解く (時間外学習) Unit11.EXERCISESと解いてくる。
13	Unit12.Did the policeman make him pull	(授業内容) 使役動詞の使い方 (時間外学習) Unit12の単語を調べ、本文と訳を書いてくる。
14	Unit12.Did the policeman make him pull	(授業内容) 実際に使役動詞の問題を解く (時間外学習) Unit12.EXERCISESと解いてくる。
15	まとめ 小テスト	(授業内容) 復習と小テスト (時間外学習) Unit7から12までの復習をする

《教養科目》

科目名	中国語				
担当者氏名	川野邊 希美				
授業方法	演習	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

近年は経済交流や文化交流を通して、中国身近な国になってきている。そこで、本講義では発音を学びながら挨拶言葉、家族呼称、数字、年月日を学びます。続けて、テキストの“課文”によって、姓名、判断、質問、所有、存在、期日・曜日、時間帯・時刻、貨幣、完了などの表現を学びます。毎回、内容を確認してから、ペアでロールプレイをしたり、教師と会話をしながら楽しく授業を進めていきます。

《授業の到達目標》

受講生が中国語の声調を完璧にマスターできるよう、発音の訓練を徹底的に学びます。中国語による挨拶、自己紹介、年月日、曜日、時間、買い物などの日常会話を身につけます。

《成績評価の方法》

定期試験における筆記試験[50%]、宿題[30%]、授業における会話力の向上度[20%]によって評価する。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	発音(1)	声調(四声)、単母音
2	発音(2)	子音(1)、複合母音、声調記号のつけかた
3	発音(3)	子音(2)、鼻母音、0-10の数字の読み方
4	発音(4)	声調変化、人称代名詞、家族名称
5	発音(5)	発音のまとめ、1-99の数字をおぼえよう、教室用語、常用挨拶言葉
6	你叫什么名字? (お名前は?)	判断動詞“是”、“吗”疑問文、名前の尋ね方と答え方
7	初次见面 (初めまして)	疑問詞疑問文、個人の名前の読み方の指導、副詞“也”と“都”
8	你学什么专业? (ご専攻は何ですか?)	動詞述語文、助詞“的”、疑問詞“呢”
9	你家有几口人? (ご家族は何人ですか?)	所有を表す“有”、指示代名詞
10	你多大岁数? (お幾つですか?)	年齢の尋ね方、疑問代名詞“几”と“多少”、曜日
11	今天几月几号?(今日は何月何日ですか?)	年月日、選択疑問詞“还是”、前置詞“在”、語気助詞“吧”
12	这本辞典怎么样?(この辞典はどうですか?)	助動詞“想”、形容詞述語文、「量詞」の用法、お金の言い方
13	现在几点? (いま何時ですか?)	時間帯と時刻、場所代名詞
14	车站附近有取款机吗? (駅の近くにATMある?)	方位詞、存在を表す“有”、存在を表す“在”、反復疑問文
15	我饿了。 (お腹がすきました。)	連動文、変化・語気の“了”、動作の完了を“了”、中華料理のメニュー

《テキスト》

劔重依子・杜金楓 著「自然に身につく基礎中国語」朝日出版社 2017

《参考図書》

「はじめての中国語学習辞典」朝日出版社 相原茂

《授業時間外学習》

発音を学んだ後、毎回授業の最初に前課の本文をペアで復唱するので、必ず復習しておくこと。

《課題に対するフィードバック等》

1. 学生の理解しやすい説明を心掛ける。2. もっと日常会話練習に重点を置いた授業にしたい。3. 学生には毎回の授業に出席し、必ず宿題を自分ですることをお願いする。

《教養科目》

科目名	地球と環境				
担当者氏名	落合 啓志				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 2-2 知識・技能				

《授業の概要》

身近なところや日本、世界で起こっている環境問題と自分たちとの関係について、具体的な事例をもとにグループ討議や発表を通して学ぶ。

《テキスト》

なし

《参考図書》

なし、必要に応じて授業の中で紹介する。

《授業の到達目標》

主な環境問題の現状とその問題点および要因等について説明できる。

《授業時間外学習》

授業前に配布された資料は事前によく読んでおくこと。また、授業で配布されたプリントは復習を十分に行うこと。

《成績評価の方法》

筆記試験（20%）、毎回の授業のまとめのポートフォリオ作成提出（80%）を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたポートフォリオは内容を確認し、コメントを付してフィードバックします。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	アライグマから考える環境問題	アライグマは動物園だけにいるのでしょうか。アライグマ問題からいろいろなことが見えてきます。
2	パンダから考える環境問題	パンダは人気者ですが、パンダからいろいろなことが見えてきます。
3	レジ袋から考える環境問題	たかがレジ袋だが、されどレジ袋。レジ袋からいろいろなことが見えてきます。
4	地球温暖化から考える環境問題	いま話題の地球温暖化問題をいろいろな角度から考えてみましょう。いままで気づかなかったことが見えてきます。
5	太陽光発電から考える環境問題	エコといわれている太陽光発電や自然エネルギーからいろいろなことが見えてきます。
6	水から考える環境問題	蛇口をひねると当たり前のように出てくる水ですが、水からいろいろなことが見えてきます。
7	環境問題のこれまでとこれから	過去の環境問題を振り返り、これからの環境問題への取組方やSDGs実現に向けて必要なことを考えてみましょう。
8	埼玉県の問題環境問題&試験	埼玉県ならではの環境問題ってあるのでしょうか。第1回・第8回は、世の中の動きや受講者の学習状況によって一部変更もあります。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		